

6月

# 新着図書

## クスノキの女神

著者名： 東野 圭吾  
出版社： 実業之日本社

神社に詩集を置かせてくれと頼んできた女子高生の佑紀奈には、玲斗だけが知る重大な秘密があった。一方、認知症カフェで玲斗が出会った記憶障害のある少年・元哉は、佑紀奈の詩集を見てインスピレーションを感じる。玲斗が二人を出会わせたところ瞬く間に意気投合し、思いがけないプランが立ち上がる。不思議な力を持つクスノキと、その番人の元を訪れる人々が織りなす物語。待望のシリーズ第二弾！

## 笑う森

著者名： 荻原 浩  
出版社： 新潮社

神森で行方不明になった5歳児と迷い込んだ4人の男女。拭えない罪を背負う彼らの真実と贖罪。原生林で5歳のASD児が行方不明になった。1週間後無事に保護されるが「クマさんが助けてくれた」と語るのみで全容を把握できない。バッシングに遭う母のため義弟が懸命に調査し、4人の男女と一緒にいたことは判明するが空白の時間は完全に埋まらない。森での邂逅が導く未来とは。希望と再生に溢れた荻原ワールド真骨頂。

## 変な家

著者名： 雨穴  
出版社： 飛鳥新社

謎の覆面作家・雨穴デビュー作!!  
「読み出したら止まらない」と大反響  
YouTubeで2000万回以上再生のバズ動画  
あの「【不動産ミステリー】変な家」にはさらなる続きがあった!!  
謎の空間、二重扉、窓のない子供部屋——  
間取りの謎をたどった先に見た、「事実」とは!?

## 世界でいちばん透きとおった物語

著者名： 杉井 光  
出版社： 新潮社

衝撃のラストにあなたの見る世界は『透きとおる』。大御所ミステリ作家の宮内彰吾が死去した。宮内は妻帯者ながら多くの女性と交際し、そのうちの一人と子供までつくっていた。それが僕だ。「親父が『世界でいちばん透きとおった物語』という小説を死ぬ間際に書いていたらしい。何か知らないか」宮内の長男からの連絡をきっかけに始まった遺稿探し。編集者の霧子さんの助言をもとに調べるのだが——。予測不能の結末が待つ、衝撃の物語。

## 女の国会

著者名： 新川 帆立  
出版社： 幻冬舎

選挙に弱い政治家は、誰かの言いなりになるしかない。だから——。強くなりた。国会のマドンナ“お嬢”が遺書を残し自殺した。敵対する野党第一党の“憤慨おばさん”は死の真相を探りはじめる。議員・秘書・記者の覚悟に心震える、政治×大逆転ミステリ！

## 山の上の家事学校

著者名： 近藤史恵  
出版社： 中央公論新社

離婚して一年。荒んだ生活を送っていた幸彦は、ある「学校」を紹介される。そこには様々な事情を抱える生徒たちが通っていた——。

## いつか、アジアの街角で

著者名： 中島 京子 他  
出版社： 文藝春秋

人気女性作家6人が競作！  
『隣に座るといふ運命について』中島京子  
『月下老人』桜庭一樹  
『停止する春』島本理生  
『チャーチャンテン』大島真寿美  
『石を拾う』宮下奈都  
『猫はじっとしていない』角田光代

## 赤と青のガウン

オックスフォード留学記  
著者名： 彬子女王  
出版社： PHP研究所

女性皇族として初めて海外で博士号を取得された彬子女王殿下による英国留学記。《赤と青のガウン》。それは、私が博士課程を始めたときからいつか着る日を夢みてきたものだ。五年間の留学生活中、何人もの友人が博士課程を無事修了し、オックスフォードを旅立っていく様子を何度も見送ってきた。晴れ晴れとした表情でこのガウンを身にまとい、学位授与式が行われるシェルドニアン・シアターから出てくる友人たちの姿は、誇らしくもあり、またうらやましくもあった。。